



高倉 会長

# 真の意味での構造改革を 全体の底上げ・格差是

## 第48回衆議院議員選挙以降の政治動向

今回の衆院選は大変分かりづらく、取り組みにくい構図での選挙となったが、自動車総連組織内議員・愛知11区・古本伸一郎は、厳しい情勢の中、見事6期目の当選を勝ち取ることができた。今後は、次期参院選や統一地方選に向け、いかに一体感を持って臨んでいけるかが重要である。野党勢力が分断している中で、我々の政策実現に向けては、党派を超えた連携が不可欠である。自動車総連としても、組織内議員を核とし、車と社会を考えるフォーラム議員との連携を広げていく。

こうした情勢下、本日、次期参議院議員選挙の候補者の推薦提案を行うが、現在の組織内国会議員の所属は「民進党」である。参院選・比例代表選挙での政党の獲得議席は、政党名による得票が圧倒的に個人名を上回っており、政党の信頼度が大きく影響する。従って、民進党には国民により信頼され、明るい未来を付託できる政党に生まれ変わる最良の方策を見出し、国民に政権選択の明確な選択肢を提示していく必要がある。

いずれにしても、政党はどうあれ、我々の目指す政策実現に向け、まずは職場が結集・団結して、組織内議員を支援する体制を作ることが肝要である。

## 総合生活改善の取り組み

### 1) 賃金の引き上げ

自動車総連は、これまでも日本経済を牽引する基幹産業としての、自動車産業の位置づけにふさわしい賃金水準を目指し取り組みを推進してきた。今次取り組みにおいては、我々の目指す姿である「働く者の将来不安の払しょく、日本経済の自律的成長」の実現に向け、強力に推進していく。方針の策定では、自動車産業・企業の実態や将来を見据え、生産性三原則に立ち返り、賃金を始めとした労働条件の維持・向上と、産業・職場の生産性や働き方の質の向上に資することを念頭に置いた。特に各単組、特に中堅・中小が自ら目指す賃金の在り方を強く訴求するなど、企業規模・業種、正規・非正規に関わらず、自らの賃金課題を継続的・安定的に改善し、底上げしていける状態、すなわち真の意味での構造

改革を推進し、全体の底上げ・格差是正の前進を果たしていく。今次取り組みのポイントを3点述べる。

### ①格差是正・全体の底上げに向けた、絶対額を重視した取り組み

賃金の上げ幅中心の共闘では限界があり、目指すべき賃金水準・根っこからの高さへの到達に向けた要求根拠の組み立てが、労使間での論議になりやすい側面もある。上げ幅だけでなく、絶対額を重視する「個別賃金」による要求・回答の引き出しにも積極的に取り組んでいただきたい。

### ②非正規労働者への取り組みの強化

雇用の改善、賃金・労働諸条件の引き上げ、組織化などに、引き続き総合的に取り組む。様々な雇用形態の組み合わせの中で、雇用の安定を図り、同一価値労働・同一賃金を基本とした均等・均衡待遇を確立することが課題である。特に今回、初めて賃金の要求基準の中に、引き上げ額として「20円」を明記したので、一歩でも二歩でも前進させていただきたい。

### ③働き方改善の実施

ワークライフバランスの取れた働き方の実現、多様な働き方に基づく職場全体の生産性向上、持続可能な産業基盤の前提である人材確保の観点から取り組んでいく。働く者の視点に立った、働き方の改善に資する協議や提言を、全ての単組で実施し、コンプライアンスも含む働き方の質の向上に対する、将来への決意を示す取り組みとしていただきたい。

以上の3点について、各労連・単組において実現に向けて何ができるのかを、それぞれ考えて取り組んでいただきたい。

この後、今次取り組みでの具体的な賃金引上げの要求基準を、3,000円以上とすることを提案する。なお、昨年同様に「以上」としたが、格差是正や日本経済の自律的成長を実現させていくためにも、本年は昨年以上に、この「以上」に込めた思いは強く、各単組における具体的な要求水準に明確な意思を込めて、積極的に反映してほしい。

### 2) 生産性三原則に則った取り組み

総合生活改善における真の意味での構造転換を引き続き推進し、働き方を含めた自動車総連全体の底上げ・格差是正の前進を果たすべく、生産性三原則に則り、①賃金を始めとした労働諸条件の改善、②働き方の改